

# 社協 おうみはちまん

**特集** 見守り支えあいのできる地域づくりを目指して  
様々な場所で見守り支えあい活動に関する学習や交流の場づくりに取り組んでいます



見守り支えあい活動情報交換会  
【実践報告の内容を記載 特集P 2～3】

身近な地域（自治会単位）での見守り支えあいのできる体制づくりについて、情報交換を行いました。

～参加者の声～

◇自治会全体で見守り支えあいネットワークをつくるのが重要と感じた。

◇地域の中で情報交換する場を持っていきたい。



馬淵学区社会福祉大会



桐原・岡山学区区民児協交流会



金田・馬淵・老蘇学区区民児協交流会

目次

特集 見守り支えあいのできる地域づくりをめざして…	2～3	ボランティアだより……………	7
地域福祉通信……………	4～5	お知らせ・善意銀行……………	8
災害ボランティアセンター、歳末事業……………	6		



社会福祉法人 **近江八幡市社会福祉協議会**

**本所** 近江八幡市土田町1313  
TEL: 0748-32-1781  
FAX: 0748-36-6910

**支所** 近江八幡市安土町上出908-1  
TEL: 0748-46-2571  
FAX: 0748-46-5550

# 特集

## 見守り支えあいのできる 地域づくりをめざして

近江八幡市社会福祉協議会では、誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくりをめざして、身近な地域における見守り支えあいのできる仕組みづくりを推進しています。1月31日（土）に開催した見守り支えあい活動情報交換会で、現在、地域で見守りや支えあいの体制づくりに取り組んでおられる2つの地域に実践報告をいただきましたので、内容の一部をご紹介します。

### 実践報告1

「土田町に住んでよかったと思っていただけるよう

取り組みを続けていきたい」

八幡学区 土田町福祉会 会長 山根義雄さん（自治会長）



### 福祉会の立ち上げ

昨年度の自治会長より引き継ぎ、福祉会の立ち上げに向けて取り組んだ。土田町は、以前からふれあい活動やレクリエーション活動な

どが活発で、福祉会の立ち上げも、スムーズに受け入れていただいた。組織構成は、会長1名（自治会長兼任）、副会長2名（自治会副会長、前自治会長）、理事12名（自治会副会長、民生委員児童委員、福祉協力員、防犯防炎会、老人会等）、委員29名（町会長、評議委員、団体）の総勢44名。チームとして全体で福祉情報を共有しながら、支えあいの活動をやっていこうとスタートした。

### 土田町福祉会の特徴

支援を必要とする人を把握したところ、土田町全体で65名だった。支援を必要としている人の一番近くで生活し、いつでもお付き合いができるのは全15丁目それぞれの町内会長で、小さな変化に気づくことができる。各町内会長に見守り役の中心になってもらうことを納得していただき、取り組んでいただいていることは大変ありがたい。そこを1番のポイントとして活動を続けていきたい。



### 実践活動について

初めての実践活動として、クリスマスプレゼントを持って支援の必要な65世帯を対象に「今年は寒い風邪ひかんように気をつけてや」と声をかけながら訪問活動を実施した。これからも、定期的に訪問活動も実施していきたい。昔あった様な、隣のおばさんが、「芋をたいたし食べてくれへんか」と

尋ねてくる。こんな付き合いができる隣組の雰囲気を取り戻していけたらと思う。

### 最後に

支援の必要な人をいろんな角度で見守るといふことだが、決して見張っているのではない。支援を受ける人の気持ちを理解して行動していきたい。

民生委員児童委員、福祉協力員も熱心に活動されている。そこに自治会や各団体などみんなで連携することでもまた違う動きができる。土田町に住んでよかったと思われるように今後もチームとして継続できる福祉活動に取り組んでいきたい。



設立に向けた話し合いの様子

実践報告2

「将来暮らしの中で手助けが必要になった時、

助けあえるよう今から準備をしておきたい」

安土地区 衣笠台見守り支援隊 「衣笠台おたがいさん」

代表 清水廣幸さん（民生委員児童委員）



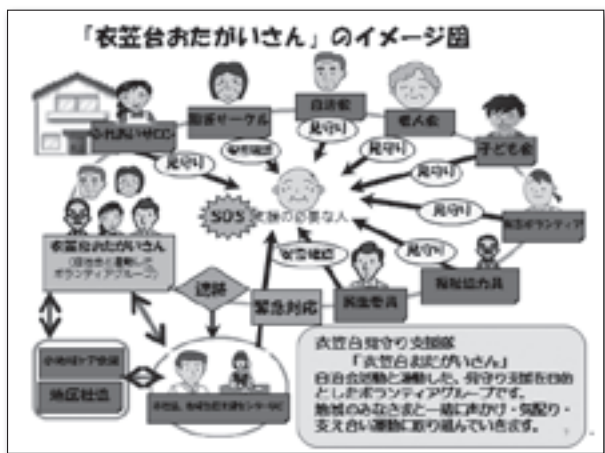
見守り支援隊の立ち上げ

安心して住み続けられる地域になるようにという思いで、自治会、民生委員児童委員、有志で見守り体制づくりが必要と話し合い組織づくりに取り組んだ。

見守り支援隊というとかたいたいで、親しみやすい愛称をつけたと思います、全戸に募集して「衣笠台おたがいさん」に決定した。

見守り支援隊の構成と位置づけ

自治会役員、民生委員児童委員、福祉協力員、老人クラブ、ふれあいサロン、園芸サークル、有志等



16名で組織しており、自治会活動と連動した見守り支援を目的としたボランティアグループという位置づけで、自治会長・副自治会長が自治会とのパイプ役としてメンバーに入っている。今後、自治会内の各種団体等と連携し、いろんな角度から情報が入ってくるようにしていきたい。

取り組み内容

- ① 定例会活動（毎月1回、メンバー間の情報交換や今後の活動について話しあう。）
- ② 見守り活動（メンバー3人を1組にして、5つのエリアに分けて70歳以上の60世帯87名を見守る。）
- ③ 広報活動（見守り訪問時にお渡しする、たよりを作成する等。）
- ④ 勉強会活動（見守り支援を実践している他地区との交流等。）



↑ 定例会の様子



↑ 手作りの腕章と→ 名札



1月に発行した広報第1号

最後に

話し合いの場を定期的に持つことで、見守りの必要性の共通認識を持つことができ連携を図りやすくなったと感じる。また、自治会ではできないことは、見守り支援隊でできる範囲でやろうという雰囲気が出てきた。今後、少しずつメンバーを増やしながら見守り声かけなど顔の見える関係をつくりながら、将来、支援が必要になった時に助けあえるように備えていきたい。

市内で、現在約10カ所、自治会単位で見守り支えあい活動を推進する体制づくりの取り組みが始まっています。新たな組織をつくって新たな活動をつくるということではなく、自治会内で横のつながりをつくり、地域のみんで支えあう意識を高めていく取り組みです。住み慣れた地域で安心して暮らし続けるために話し合いの場を設けてみませんか？

見守り支えあい活動に関するお問い合わせは

近江八幡市社会福祉協議会

電話 31-2677

地域福祉通信（No.2）平成27年3月

近江八幡市社会福祉協議会 地域福祉課 31-2677

# ふだんのくらしをしあわせに♡

近江八幡市内での地域福祉活動の推進状況や、地域での取り組みの様子をお伝えします。

## 市域

### 学区（地区）社会福祉協議会交流会を開催しました。



2月10日（火）学区（地区）社協交流会を開催し、長浜市虎姫福祉の会（虎姫地区社協）田邊会長より、『思いをカタチにし続ける』と題して、取り組みの実践についてお話しいただいた後、今後地域で取り組んでいきたいこと等を話し合いました。

※学区（地区）社協活動では、各種団体を始めボランティアで組織され、高齢者や障がい児者、子育てに関する地域の課題に応じた取り組み、自治会を単位とする福祉活動の支援、福祉に関する啓発活動に取り組んでおられます。市社協では、学区（地区）社協と連携して身近な地域で安心して生活できるよう取り組んでいきたいと考えています。

## 馬淵学区

### 子どもたちと一緒に赤い羽根募金について学ぶ



馬淵学区子ども体験活動「福祉学級」において自分の町を良くするしくみ（共同募金）についてお話しし、赤十字奉仕団のみなさんと一緒に募金箱をつくりました。出来上がった募金箱は、来年度の募金活動で活用させていただきます。

## 金田学区

### 毎月、楽しみにしているふれあいサロン



西本郷町ふれあいサロンでは、毎月集会所に楽しい声が響いています。1月はみんなで体操をした後で、つくたてのお餅の入ったぜんざいをおしゃべりしながら食べられていました。「サロンは元気の秘訣!」とみなさんにこやかでした。

## 安土地区

### 災害ボランティアセンターサテライトの体制づくりに向けて



安土地区社協では、災害時に少しでも早く元の生活に戻ることができるように、すみやかに地域の課題を把握したり、必要に応じて効果的にボランティアを受け入れるために、日頃から何ができるか、検討が始まっています。平成25年度の台風18号による災害ボランティアの受け入れを経験された、大津市藤尾学区社協に研修に出向き今後の取り組みに向けて学習されました。



## 桐原学区

日頃の地域でのつながりが深まることを目指して



2月15日（日）福祉のつどいが開催されました。70歳以上の方や障がいのある方なども参加され、出し物や手作りの昼食など、和気あいあいと楽しくふれあいのひとときを過ごされました。

## 岡山学区

福祉をテーマに自治会内で横のつながりをつくる



小舟木工小村では、地域住民の福祉意識の向上や見守りや支えあいに関して情報交換できる場として、福祉ネットワーキングを開催されています。

## 島学区

昔ながらのみそづくりで伝承と交流



1月17日（土）島学区まちづくり協議会の味噌作り勉強会に参加しました。近江八幡産の糨と青豆を使い、健康的でおいしい味噌作りを楽しめました。食の安全と健康についても学ばれ、地域の方々は充実した時間を過ごされました。

## 北里学区

ひまわり館って何をするとところ？



北里小学校4年生の皆さんは年間を通して、総合学習の時間に福祉について学習されています。今回は、ひまわり館に来所され、どんな仕事をしているところかを学んだ後、デイサービスを利用されている高齢者と歌やあやとりなどで交流されました。

## 八幡学区

災害時に備えて日頃から地域でできることは何か？



19区自治会において、2月8日（日）避難所運営ゲーム「HUG」を実施しました。ゲームを通して災害時に備えて、日頃から地域でできることは何かを気づき、学び合う機会となりました。

## 武佐学区

子どもと一緒に災害に備えて学び気づく



1月17日（土）武佐学区子ども体験活動（福祉学級）が開催されました。災害が起こったら何が出来るか、消防団や赤十字奉仕団の方と一緒に消火器の使い方や煙の中を通るなどの体験を通して学び考える機会になりました。

# 災害ボランティアセンターの体制づくりに取り組んでいます

1月20日（火）災害ボランティアセンター開設・運営のためのネットワーク構築に向けた検討会議を開催し、災害ボランティアの体制づくりに向けての意見・情報交換を行いました。次年度以降は、市域の取り組みと並行して地域の状況に応じた学区（地区）ごとの体制づくりに取り組んでいきたいと考えています。



## 災害ボランティアセンターとは…

災害時に復興に向けてボランティアによる支援が必要な場合に、効果的にボランティア活動を行えるよう市が社会福祉協議会の協力を得て開設されます。



平成26年度災害▶  
ボランティアセンター  
設置・運営訓練の  
様子



## 共同募金にご協力ありがとうございました

**赤い羽根共同募金 :6,694,695円**

**歳末たすけあい募金 :4,606,686円**

今年度もみなさまからたくさんのお気持ちいただき、誠にありがとうございました。お寄せいただいた募金は、地域の福祉活動や災害時の支援活動などに活用させていただきます。

## 歳末たすけあい活動報告

### 【地域支えあい講演会】

幸重社会福祉士事務所の幸重忠孝さんに、「ひとりぼっちのないまち～子どもの貧困を考える～」と題してご講演いただきました。



### 【ふれあいクリスマス会】

障がいのある子ども達と一緒に楽しい時間を過ごしました。高校生ボランティアも活躍いただきました。



そのほか、歳末法律相談、学区（地区）社協による歳末たすけあい活動、当事者団体等によるふれあい活動等に活用させていただきました。

## 賛助会費にご協力ありがとうございました

近江八幡市社会福祉協議会賛助会費にご理解・ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。ご協力いただきました皆さまのご芳名を、次のとおり掲載させていただきます。（敬称略）

八幡学区社会福祉協議会



# ボランティア だより

# 憩

## いの場を地域に

### 桐原学区 金よう茶屋

・地域のみんなが出会える場所：



1月23日(金)に桐原学区コミュニティセンターで実施されている「金よう茶屋」を訪れました。



部屋に入ると「いらっしやい！」とボランティアの元気な声に迎えられる。中には70名とたくさんの方が談笑しながら、手作りのランチやケーキセットに舌鼓。「毎回楽しみにしてるんや」「この場があつて嬉しいわ」「ここに来ると知り合いに会えるねん」と訪れる人たちはにこやかに話してくれました。

金よう茶屋は、毎月第2・4金曜日

11時～15時の時間に桐原コミュニティ

センターで開催されています。茶屋を

運営するのは学区ボランティアのあさ

ぎり会や学区民児協など各有志の集ま

りや、個人ボランティアなど。地域の

人がつどい、楽しい時間を過ごしてほ

しいと想いを一つに、楽しく活動され

ています。

入り口を入ると聞こえる笑い声。そ

れは、活動者も参加者も楽しさを共有

して過ごされているのだと感じます。

地域のみんなで作る場所は、昔の縁

側のようにあたたかく心地よい場所で

した。

金よう茶屋のランチセットは400

円、ティーセット150円です。

みんな  
ようついで！



の居場所さがしを、当社協では「地域活動相談」で取り組んでいます。

楽しい・仲間・生きがい。  
地域活動の中で見つけませんか？

## 地域コーディネーター

毎月第1～4月曜日 13時～15時 ひまわり館で実施しています。

第4月曜日の地域コーディネーターのみなさん



あなたの一步は、  
自分よし 家族よし 世間よし  
の三方よし

仲間をつくり元気で楽しく  
遊びませんか。



幼なじみならぬ  
シニアなじみも良いですよ。  
気楽においでください。

家の中で燻っているより、一步  
踏み出して仲間作りを、そして  
仲間と行動を！楽しいですよ。

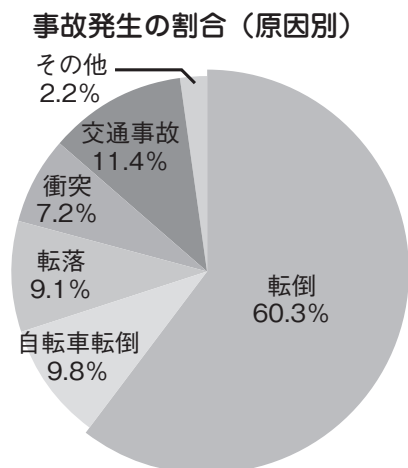


# 充実したボランティア活動を ボランティア活動保険



日本のボランティア人口は、60歳以上の方が半数を占めているといわれています。ボランティア活動による適度な運動や仲間との交流は、ボランティア自身の健康づくりや生きがいづくりに効果的であるといわれています。このような有意義な活動をできるだけ長く続けていただくにも、事故防止の取り組みが欠かせません。

## 事故発生件数のうち7割以上が転倒事故



平成25年度ボランティア活動保険事故データ

補償金額		Aプラン	Bプラン	
ケガの補償	死亡保険金	1,200万円	1,800万円	
	後遺障害保険金	1,200万円(限度額)	1,800万円(限度額)	
	入院保険金日額	6,500円	10,000円	
	手術	入院中の手術	65,000円	100,000円
		外来の手術	32,500円	50,000円
	通院保険金日額	4,000円	6,000円	
	特定感染症の補償	上記後遺障害・入院・通院各補償金額に同じ		
葬祭費用保険金(特定感染症)	300万円(限度額)			
賠償責任保険金	5億円(限度額)			
掛金	基本タイプ	300円	450円	
	天災タイプ	430円	650円	

### 対象となるボランティア活動

国内における「自発的な意思により他人や社会に貢献する無償のボランティア活動」で、次の①から③までのいずれかに該当する活動

- ①グループの会則に則り企画、立案された活動であること。  
(グループが社会福祉協議会に登録されていることが必要)
- ②社会福祉協議会に届け出た活動であること。
- ③社会福祉協議会に委嘱された活動であること。

### 補償内容

ボランティアがボランティア活動中の急激かつ偶然な外来の事故によりケガをされた場合や、偶然な事故により他人にケガをさせたり、他人の物をこわしたことにより法律上の損害賠償責任を負われた場合に保険金をお支払いします。

### 補償期間

平成27年4月1日午前0時から平成28年3月31日午後12時まで

中途加入の場合は、加入申込手続き完了日の翌日午前0時から平成28年3月31日午後12時までとなります

### 加入・問合せ先

近江八幡市社会福祉協議会 Tel: 31-2677 Fax: 36-6910  
〒523-0082 近江八幡市土田町1313番地

## 善意 ありがとうございました

平成26年12月17日～  
平成27年2月20日分



地域福祉等のため、次のとおりご寄付をいただきました。助け合いや地域福祉活動等の支援に大切に活用させていただきます。皆さまのご厚意に厚くお礼申し上げます。  
(敬称略・順不同)



#### 寄付物品

匿名.....大豆90kg  
匿名.....米120kg  
JAグリーン近江労働組合.....米90kg

#### 寄付金

長光寺 金子弘信.....49,384円  
野村町歳末バザー.....16,060円  
特定非営利活動法人夢・同人 理事長 国松善次...18,840円